

次年度に向けての取組み目標と具体的な取組み方策

平成26年度取組み目標と方策			
評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[1] 教育活動 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の充実</li> <li>・真摯で積極的な勉学姿勢の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習，自主学習の習慣を整えるため，通常授業の他，朝学習，よる学習，スタディークラブの充実を図る。国内，海外研修の事前学習，現地学習，事後学習を習慣付け，クロスカリキュラムの充実で真の学力，教養を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の学年経営案に書き入れ，年間通して継続した学習状況のチェックを課題等を通し掌握する。</li> </ul>
[2] 教科指導 (各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的教科指導の推進による進路目標への到達</li> <li>・授業力の向上</li> <li>・新教育課程の編成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導部を新たに立ち上げ，学習指導の強化・徹底を図る</li> <li>・学習結果のデータ管理を徹底し，常に全国レベルでの比較をし，国内私立の上位を目指す</li> <li>・公開授業，研究授業の機会・取り組みを拡大し，教員が互いに良いところを学び合える場を更に多く用意したい。</li> <li>・教科シラバスを充実させこれを実行することで進路目標達成に繋げていきたい。</li> <li>・前期課程の新カリキュラム充実</li> <li>・新カリキュラムに準じたシラバスの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月実施の春季授業参観週間，11月実施の秋季授業参観週間の実施</li> <li>・新任教員研究授業の実施</li> <li>・中堅教員研究授業の実施</li> <li>・春季，夏季，冬期の教員研修</li> </ul>
[3] 学校生活への配慮 (生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前指導の実施</li> <li>・教育講座の実施</li> <li>・制服着用指導の徹底，クールビズの検討・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生登校日に新入生と保護者に本校の生活指導についての理解を求める。</li> <li>・禁煙，交通安全，健康，薬物乱用防止の各教育講座を講師を招いて実施する。</li> <li>・本校の生徒指導の原点に立ち返った指導法を再構築する。省電力の社会的要請に応える軽装化を検討・実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月末と入学当初に指導する。</li> <li>・4月と7月に実施する。</li> <li>・年度当初より取組む。</li> </ul>
[4] 生徒会・部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の充実</li> <li>・部活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係委員会，生徒会だけでなく一般生徒にも協力体制を築いていく。</li> <li>・運動部40%，文化部20%の加入を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度末より各委員会を積極的に動かしていく。</li> </ul>

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[5] 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三大進路の確立 日本大学進学 難関大学進学 海外大学進学 特に日本大学医学部進学 の復活を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に進路意識を自覚させる（前期課程3年生の大学訪問を継続する）</li> <li>・後期過程の生徒のオープンキャンパス参加の推進</li> <li>・医歯薬獣医系の希望を成就させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導の基本方針を早期に教員に示し、学年の計画と連動させながら実施していく。</li> </ul>
[6] 保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な健康診断の実施</li> <li>・健康管理の支援</li> <li>・教育相談の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の保護をマニュアル化して安心して保健活動が出来るようにする。また、健康診断等でのプライバシー保護を徹底する。</li> <li>・コンピューター処理の作業効率を改善させる環境整備をする。</li> <li>・前期課程、後期過程生徒の生活に関する調査結果を積極的に活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初より取組む。</li> </ul>
[7] 図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚資料の刷新と充実</li> <li>・図書館利用率の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録媒体の変更に伴い、視聴覚資料の買い直しを図っていく。教科で利用する資料は先生方の意見を参考に購入して授業で活用できる資料の充実を図る。</li> <li>・ドキュメンタリー資料や教養、人権問題といった社会科学の分野の視聴覚資料を増やし、利用率の促進を図る。</li> <li>・利用頻度の高い新書および時事関連資料を増強し提供する。</li> <li>・広報誌の継続的発行を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の購入については、時期や出版状況を確認しながら順次取り組んでいく。</li> </ul>
[8] 広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の強化</li> <li>・先生方の意見の反映</li> <li>・情報発信の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内やポスターは受験生がより関心を示すインパクトのあるものとする。</li> <li>・学校見学会や学校説明会の内容を検討して新企画を提案し、学年や各校務分掌との連携強化を図る。</li> <li>・ホームページの充実（学校生活が垣間見られるタイムリーな情報の提供）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初より取組む。</li> <li>・参加動向を見越して、早期に準備する。</li> </ul>
[9] 管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針の浸透</li> <li>・校務分掌機能の円滑化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校自己点検評価結果を効果的に活用する。</li> <li>・校務分掌の連携と再構築を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の生徒授業評価アンケート実施後、計画的に行う。</li> </ul>

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[10] 庶務	入学式，卒業式， 護者と教師の会 等の総会，奨学金 環境美化などは従 来以上に推進  ・防災，安全，危機 管理などの強化 ・避難訓練の充実  ・同窓会活動の活性 化	・年度ごとの新しい消防・防災計画を策定 ， 所定の機関にも提出し，教職員や生徒 にも徹底し，PDCA をしっかり執行する  ・部署と連携し，保護者と学校の連絡体 制を緊密なものにして，事故などに即座 に応できるようにする。  ・避難訓練を複数回実施 ・ホームカミングデーなどの取り組みを契 とし，同窓会との協議をすすめ，組織や 業計画の活性化を促進する。	年度当初より， 及的速やかに取り 組む。